



二五

Faint vertical markings or characters on the right side of the page.

2-1400

0380

條約局

内社第五六二號

大正十二年六月十四日

北海道廳長官

宮尾 舜 治

大正十二年六月廿五日 記録係 接環

北海道廳

普通
受第 4225 号
12.6.16

第一 歐米 局



外務省 條約局長 殿

千島樺太交換條約ニ關スル件

千島國色丹島土人救恤上必要有之候條千八百七十五年四月二十五日

締結セラレタル千島樺太交換條約書寫一部至急御送付相成庶此段

及照會候也

天
送
取
付
取
付
取
付

2-1400

0381

門類
項
號

文書課長

大正三年六月拾九日接覽

校正
印

大正 年 月 日 起草

同 年 月 日 附

大正三年六月廿日 發送濟

條二普通送第 三二二號

主任

大正三年六月廿日 記錄係接受

主管 條約局

官尾北海道廳長 官 宛
山川糸約局長

千島樺太交換金約文送付

本月十日附内能才五二二號ヨ以ヨ高

外務省

記各各文也送付之也送付也

有之ニ付ヨ右手一部ヨ刻了及也

其外糸取書取也送付也送付也

2-1400

0382

露西兩國

大正三年六月廿貳日記錄係接獲

○樺太千島交換條約 (歐文冊三三八頁乃至三四一頁)

明治八年五月 七日 日聖彼得堡ニ於テ調印 (佛文)

同 年八月二十二日 批

同 年八月二十二日 東京ニ於テ批准書交換

同 年十二月 十日 公 布

大日本國皇帝陛下ト

全露西亞國皇帝陛下ハ今般樺太島 (即薩哈噠島) 是迄兩國雜領ノ地タルニ由リテ屢次其間ニ起レル紛議ノ根ヲ斷チ現下兩國間ニ存スル交誼ヲ堅牢ナラシメンカ爲メ

大日本國皇帝陛下ハ樺太島 (即薩哈噠島) 上ニ存スル領地ノ權理全露西亞國皇帝陛下ハ「クリル」群島上ニ存スル領地ノ權理ヲ互ニ相交換スルノ約ヲ結ント欲シ

(已號用紙)

外務省

(已號用紙)

大日本國皇帝陛下ハ海軍中將兼任在露京特命全權公使從四位榎本武揚ニ其全權ヲ任シ

全露西亞國皇帝陛下ハ太政大臣金剛石裝飾露帝照像金剛石裝飾露國「シント、アンドレアス」褒牌「シント、ウラジミル」一等褒牌「アレキサンドル、ネフスキー」褒牌白鷺褒牌「シント、アンナ」一等褒牌及「シント、スタニスラス」一等褒牌佛蘭西國「レジウン、ド、オノール」大十字褒牌西班牙國金膜大十字褒牌奧太利國「シント、エチーネ」大十字褒牌金剛石裝飾字露生國黑鷺褒牌及其他諸國ノ諸褒牌ヲ帶ル公爵「アレキサンドル、ゴルチャコフ」ニ其全權ヲ任セリ
右各全權ノ者左ノ條款ヲ協議シテ相決定ス

外務省

太島

第一款

大日本國皇帝陛下ハ其後胤ニ至ル迄現今樺太島（即薩哈噠島）ノ一部ヲ所領スルノ權理及君主ニ屬スル一切ノ權理ヲ全露西亞國皇帝陛下ニ讓リテ而今而後樺太全島ハ悉ク露西亞帝國ニ屬シ「ラペルーズ海峽ヲ以テ兩國ノ境界トス

第二款

全露西亞國皇帝陛下ハ第一款ニ記セル樺太島（即薩哈噠島）ノ權理ヲ受シ代トシテ其後胤ニ至ル迄現今所領「クリル」群島即チ第一「シュムシユ」島第二「アライド」島第三「バラムシル」島第四「マカナルシ」島第五「チネコタン」島第六「ハリムコタン」島第七「エカルマ」島第八「シヤスコタン」島第九「ムシル」島第十「ライ

(已服用紙)

外務省

讓與

第三款

コケ「島第十一「マツア」島第十三「ラスツア」島第十三「スレド子ワ」及「ウシシル」島第十四「ケトイ」島第十五「シムシル」島第十六「プトロン」島第十七「チエ」ルボイ」並ニ「ブラツト」チエ「ルボエフ」島第十八「ウルツ」島共計十八島ノ權理及ヒ君主ニ屬スル一切ノ權理ヲ大日本國皇帝陛下ニ讓リ而今而後「クリル」全島ハ日本帝國ニ屬シ東察加地方「ラバツカ」岬ト「シュムシユ」島ノ間ナル海峽ヲ以テ兩國ノ境界トス

(已服用紙)

外務省

交換地領土
權ノ移轉期
及授受ノ手
續

前條所載各地並ニ其地産ハ此條約批准爲取換ノ日ヨリシテ直ニ全ク新領主ニ屬スル者トス但其各地受取渡ノ式ハ批准後雙方ヨリ官員一名又ハ數名ヲ撰テ受取掛トシ實地立會ノ上執行フヘシ

交換地域内
公共ノ土地
建物等ノ讓
與

各政府所屬
建物
評價並賠償

交換地住所
位

第四款

前條所記交換ノ地ニハ其他ニアル公同ノ土地、人ノ下手セサル地所、一切公共ノ造築、壘壁、屯所及ヒ人民ノ私有ニ屬セサル此種ノ建物等ヲ所領スルノ權理モ兼存ス
現下各政府ニ屬スル一切ノ建物及動産ハ第三款ニ載スル雙方ノ受取掛役取調ノ上其代價ヲ按査シ其金額ハ其地ヲ新ニ領スル政府ヨリ出ス者ナリ

第五款

交換セシ各地ニ住ム各民（日本人及露人）ハ各政府ニ於テ左ノ條件ヲ保證ス、各民並共ニ其本國籍ヲ保存スルヲ得ルコト、其本國ニ歸ラント欲スル者ハ常ニ其意ニ放セテ歸ルヲ得ルコト、或ハ其交換ノ

(已就用紙)

外務省

露國ノ日本
國ニ對シ
タル諸權利
特典

地ニ留ルヲ願フ者ハ其生計ヲ充分ニ營ムヲ得ルノ權理及其所有物ノ權理及隨意信教ノ權理ヲ悉ク保全スルヲ得ル至ク其新領主ノ屬民（日本人及露人）ト差異ナキ保護ヲ受ル事雖然其各民ハ並共ニ其保護ヲ受ル政府ノ支配下ニ屬スル事

第六款

樺太島（即薩哈噠島）ヲ讓ラレシ利益ニ酬ユル爲メ全露西亞國皇帝陛下ハ次ノ條件ヲ准許ス

第一 日本船ノ「コルサコフ」港即「クシユンコタン」ニ來ル者ノ爲メニ此條約批准爲取換ノ日ヨリ十ケ年間港稅モ海關稅モ免スルコト、此ノ年限滿期ノ後ハ猶之ヲ延スモ又ハ稅ヲ收メシムルモ全露西亞國皇帝陛下ノ意ニ任ス全露西亞國皇帝陛下ハ日本

(已就用紙)

外務省

(已號用紙)

政府ヨリ「コルサコフ」港へ其領事官又ハ領事兼任ノ吏員ヲ置クノ權理ヲ認可ス

第二 日本船及商人通商航海ノ爲メ「ヲホツク」海諸港及東察加ノ海港ニ來リ又ハ其海及海岸ニ沿フテ漁業ヲ營ム等渾テ露西亞最懇親ノ國民同様ナル權理及特典ヲ得ル事

第七款

海軍中將榎本武揚全權委任狀ハ未タ到來セスト雖モ電信ヲ以テ其送致スル旨ヲ確定セラルルニ由リ其到ルヲ待タスシテ此條約面ニ記名シ其到ルヲ待テ各全權委任狀ヲ相示スノ式ヲ行ヒ別ニ其學ヲ記シテ以テ左券トスヘシ

第八款

外務省

(已號用紙)

此條約ハ大日本國皇帝陛下並ニ全露西亞國皇帝陛下互ニ相許可シ而シテ批准スヘシ但各皇帝陛下ノ批准爲取換ハ各全權記名ノ日ヨリ六ケ月間ニ東京ニ於テ行フヘシ
此條約ニ權力ヲ附スル爲メ各全權各其姓名ヲ記シ並ニ其印ヲ鈐スルモノナリ

明治八年五月七日即一千八百七十五年 四月二十五日 五月七日 比特堡府ニ於テ

榎本武揚(印)

ゴルチヤコフ(印)

外務省

2-1400

0386

(已號用紙)

同上附屬公文

日本國皇帝陛下ノ政府ト露西亞國皇帝陛下ノ政府ハ本日兩帝國間ニ結ヒタル條約第四款ニ載タル件ヲ完成セントタメ下名ノ者協議ノ上左ノ條款ヲ定ム

第一款

露西亞帝國政府ハ本條約ノ旨ニ基キ日本政府附ノ建物及動產ヲ引受ヘキヲ以テ其代價ヲ日本政府ニ拂フコトヲ承諾シ日本政府ヨリ報知セラレシ金額即チ棟數壹百九十四軒代價七萬四千零六十三圓(日本ドルラル)及動產ノ代價一萬九千八百十四圓ヲ以テ其物價檢査ノ基本トナス

第二款

外務省

(已號用紙)

兩國政府ノ所有ニ屬スヘキ建物及動產ノ評價ノ差引剩餘金

條約第五款ニ關スル附錄條款取極ノ豫約

本日取結ヒノ條約第三款ニ掲クル各地受取掛雙方役人ハ各地ニ在ル建物及動產ノ兩政府ニ歸スヘキモノヲ檢査シテ其代價ヲ決定スヘシ右雙方役人ヨリ各地竝ニ靜動二產受取渡濟及其決定セシ代價ノ屆書落手ノ後露西亞政府附ノ物品代價差引キ剩餘金額ハ各地竝ニ靜動二產公然受取渡濟ヨリ六ヶ月内ニ比特堡府ニ於テ日本公使又ハ日本國皇帝陛下ヨリ別段ニ其命ヲ奉シタル役人ニ渡スヘシ

第三款

本日結約ノ第五款中ニ陳スル交換セル各地ニ留ル各民ノ權理及地位竝ニ各地ニ住ム土人ノ義ニ付テハ東京ニ於テ日本政府露西亞辦理公使ト尙之ニ附録スヘキ條款ヲ取極ム可シソノ爲メ入用ナル全權ヲ露公使ニ附スル者ナリ

外務省

2-1400

0387

本議定條款
ノ效力

第四款

前條ニ載タル議定セシ件ハ同日記名セシ本條約ノ列ニ加ヘタルモ同
シ權力アルモノナリ

右ヲ確定スル爲メ下名ノ者此公文ヲ作り以テ各其印ヲ調スル者ナリ

明治八年五月七日

一千八百七十五年 四月二十五日
五月七日

比特堡府ニ於テ

榎本武揚 印

ゴルチヤコフ 印

外務省

(已號用紙)

2-1400

0388

(已號用紙)

同上附録

明治八年八月二十二日東京ニ於テ調印
明治九年二月二十九日 公布

明治八年五月七日即チ千八百七十五年四月二十五日露國聖比特堡府ニ於テ調印濟ノ公文第三款ニ基キ及同日調印ノ條約第五款ノ旨趣ヲ完全ナラシメ且施行センカ爲メ雙方讓與濟ノ領地ニ在住セル各政府臣民ノ權利及其身分且兩地方土人ノコトニツキ日本皇帝陛下及全露西亞皇帝陛下ハ爲メニ各全權委員ヲ命シタリ即チ日本皇帝陛下ハ其外務卿寺島宗則ヲ之レニ任シ又全露西亞皇帝陛下ハ侍從兼コンセイエーデターアクチユエル日本在留辦理公使「シャル、スツルウエ」ヲ以テ此ノ任ニ宛テ雙方委任ノ書ヲ照應シ狀實良好ニシテ其至當タルヲ見テ左ノ條款ヲ合議決定スルモノナリ

外務省

(已號用紙)

交換後現住
地在住民ノ
職業ノ權利
及免除

交換地在住
民ノ所有權
保護

交換地在住
民ノ信教自由

第一條

交換濟ノ各地ニ住ム日本及露西亞ノ臣民現ニ其所有セル地ニ在住セント願フモノハ自個ノ職業ヲ十分營ムヲ得且其保護ヲ受クヘシ又現在所有地界限中ニテ漁獵及鳥獸獵ヲ爲スノ權ヲ有シ且其生涯中自個ノ職業上ニ關スル諸稅ヲ免スヘシ

第二條

樺太(サカ)島及「クリル」島ニ在住セント決定スヘキ各臣民ハ所有ノ權利ヲ有スヘシ又現今所持ノ不動産ヨリ收入スル物件及所有ノ權利ヲ證明セル證書ヲ渡シ置クヘシ

第三條

樺太(サカ)島及「クリル」島ニ在ル各臣民ハ自個ノ宗旨ヲ尊崇ス

外務省

交換地土人
ノ國籍決定
ノ義務及其
ノ猶豫年限

ルコト全ク自由タルヘク又禮拜堂寺堂及墓所ハ毀害スヘカラス

第四條

樺太（サカ
リヌ）島及「クリル」島ニ在ル土人ハ現ニ住スル所ノ地ニ永
住シ且其儘現領主ノ臣民タルノ權ナシ故ニ若シ其自個ノ政府ノ臣民
タランコトヲ欲スレハ其居住ノ地ヲ去リ其領主ニ屬スル土地ニ赴ク
ヘシ又其儘在來ノ地ニ永住ヲ願ハハ其籍ヲ改ムヘシ各政府ハ土人去
就決心ノ爲メ此條約附録ヲ右土人ニ達スル日ヨリ三ケ年ノ猶豫ヲ與
ヘ置クヘシ此三ケ年中ハ是迄ノ通樺太島及「クリル」島ニテ得タル
特許及義務ヲ變セスシテ漁獵及鳥獸獵其他百般ノ職業ヲ營ムコト妨
ナシト雖モ總テ地方ノ規則及法令ヲ遵奉スヘシ前ニ述フル三ケ年ノ
期限過キテ猶雙方交換濟ノ地ニ居住センコトヲ欲スル土人ハ總テ其

（已號用紙）

外務省

（已號用紙）

土人ノ信教
自由

地新領主ノ臣民トナルヘシ

第五條

樺太島及「クリル」島ノ土人ハ各自個ノ宗旨ヲ尊崇スルコト全ク自
由タルヘシ又寺堂及墓所ハ毀害スヘカラス

第六條

此條約附録右五ケ條ニ載タル議定ノ件々ハ明治八年五月七日聖比特
堡ニ於テ調印濟ノ條約ニ加ヘタルモ同シ權力アルモノナリ
右ヲ決定スル爲メ各全權委員此條約附録ヲ作りニ通ト爲シ以テ各其
印ヲ調スルモノナリ

東京ニ於テ

明治八年八月二十二日

外務省

2-1400

0390

Handwritten marks and stamps on the right side of the document, including a circular seal and some illegible characters.

日本國外務卿 寺島宗則 印
露西亞國辦理公使 セ、スツルウエ 印

外務省

(已號用紙)

2-1400

0391